

エレベータージャーナル

# ELEVATOR JOURNAL

No. ~~44~~ 44

2023年7月発行

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

## C O N T E N T S

- クローズアップ  
東宝日比谷プロムナードビル
- 昇降機業界に携わる人の紹介  
エレ人十色 No.04
- 編集後記

クローズアップ



建物外観

# 東宝日比谷 プロムナードビル

倉橋 周平  
(Shuhei Kurahashi)  
フジテック株式会社  
首都圏統括本部 営業部

## 1. はじめに

皇居の南東に位置し、映画館や劇場などが集まる文化の発信地、日比谷エリア。そこで約半世紀に渡り親しまれた東宝ツインタワービルの跡地に建設された「東宝日比谷プロムナードビル」は、商業施設とオフィスで構成された複合型ビルです。

高層階のオフィスフロアは、皇居外苑や日比谷公園という日本を代表する都市公園を望む開放的で緑豊かな眺望を提供し、多様な働き方に対応した設備を導入しています。

本ビルは、一般財団法人住宅・建築SDGs促進センター (IBECs) による「CASBEE<sup>®</sup>スマートウェルネスオフィス認証」の最高評価であるSランクを取得。昨今の働き方改革、SDGsの観点から、BCP機能や省エネ性能に加えて、オフィスワーカーの健康、快適性、知的生産性の向上を図るスマートウェルネスオフィスを目指しています。

## 2. 建物概要

所在地：東京都千代田区有楽町一丁目5番2号  
 建築主：東宝株式会社  
 施工：株式会社 竹中工務店  
 建築用途：事務所、店舗  
 敷地面積：1,492㎡  
 建築面積：1,314㎡  
 延床面積：16,694㎡  
 構造：S造（一部RC造、SRC造）  
 階床数：地下2階、地上11階

建屋高、軒高：54.55m

工期：2021年4月～2023年2月

竣工日：2023年2月15日

## 3. 昇降機設備

昇降機設備はエレベーター6台、エスカレーター6台、合計12台を納入しています。

オフィス用エレベーターは4台群管理運転を採用しており、搭載したAIコンピューターの学習機能によってエレベーターの待ち時間の短縮や到着予測精度を向上させています。

また、非接触センサーを小型化し、プッシュ式ボタンと一体化させた非接触ボタンを搭載しており、乗場でもかご内でもボタンに触れる事なく行先階を登録して移動する事が可能です。この機能は、当ビルが掲げる健康経営と環境に配慮した快適なオフィス空間提供の一助となっています。

エスカレーターは、地下鉄日比谷駅から当ビルを訪れる際の動線に配置されており、地下2階の地下鉄駅から地上1階のビルエントランス、および地上2階のオフィス用エントランスまでの移動手段として日々利用される人々の利便性を高めています。

※ CASBEE (建築環境総合性能評価システム) は、建築物の環境性能を評価しランク付けしています。環境や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

クローズアップ



エレベーター乗場 (No.2~5)



エレベーターかご内



乗場非接触ボタン



エスカレーター (No.1,2)



エスカレーター (No.1,2)

エレベーター仕様 (計6台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載容量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー (注3)	備考
NO. 1	人荷用	インバーター	乗合全自動方式	1150	17	90	1	14 (B2、B1、1-11、R)	フジテック	兼非常用
NO. 2~5	乗用	〃	全自動群管理方式	1150	17	105	4	10 (2-11)		車いす仕様 (NO. 2)
NO. 6	〃	〃	乗合全自動方式	1000	15	90	1	4 (B2、B1、1、2)		車いす仕様

エスカレーター仕様 (計6台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
NO. 1, 2	S600	透明ガラス	30	1-2	5500	2	フジテック	勾配35度
NO. 3, 4	〃	〃	30	B1-1	4670	2		屋外形、勾配35度
NO. 5, 6	〃	〃	30	B2-B1	4200	2		屋外形、勾配35度

昇降機業界に携わる人の紹介

# エレ人十色

## エレ人十色 No.04

### 1. プロフィール

名 前：加藤 雅樹  
 な ま え：かとう まさき  
 会 社 名：三菱電機ビルソリューションズ株式会社  
 所 属 部 署：開発本部 開発戦略推進部  
 職 種：開発設計  
 入 社 年 度：2008年度



### 2. 担当業務について

入社以来、国内および海外向けエレベーターに使用する安全装置の開発設計を担当してきました。2018年からは、タイにある海外グループ会社のR&Dセンターに出向し、現地生産化の推進やローカル機種開発の業務に携わりましたが、現在は帰国し、グローバルに点在するR&Dセンターの開発支援を行う部署で業務に励んでいます。

現在の部署では、海外のR&Dセンターとやり取りする業務が多いため、海外拠点の雰囲気に触れる機会が多いのですが、一つとして似通った拠点はなく、それぞれの特色があります。時には正反対の特色をもつ二つの拠点に対して、全く逆のことを伝えなくてはならないこともあります。アクセルとブレーキのバランスに苦勞することもあります。歴史や文化、習慣、会社を取り巻く市場環境の違いが、これほど思考や行動の差となって現れるとは思っていませんでした。

### 3. 趣味など

海外赴任先のタイで経験した貴重な海外生活は、振り返ると今でもとても印象に残っており、多くの影響を受けていました。タイで訪れた海の美しさや非日常的なリゾート感到感動してからは海が大好きになり、長期休暇は海で過ごすことが我が家の定番になりました。また、とにかく人生を楽しむことを大切にする姿勢にも刺激を受け、考え方も変わりました。

タイ赴任期間の終盤には、現地人に道を尋ねられる程に馴染んでいた私ですが、それでも整備された工業団地内を歩く飼い犬ならぬ飼い象、都心の幹線道路を封鎖して行われる水かけ祭り、数時間で街が水没するほどのスクールなど、帰任するまで驚きに溢れた日々でした。

### 4. 読者へのメッセージ

昇降機の外観意匠、インターフェース、機能といった面を見ても、国や地域の違いにより需要傾向が異なります。その背景を辿ると、歴史や文化、習慣に根差したものもあり、深掘りを進めるうちに、気づいていなかった自分の考え方や自国文化の再認識につながることがあります。こうした気づきの経験が、視野を広げてくれると感じています。

コロナ禍や不安定な世界情勢の中、以前にも増して世の中の変化が加速していますが、一方でどこか停滞しているような感覚を受けるときがあります。日々の気付きを大切に、違いを楽しみ、学ぶ姿勢を大事にしていきたいと思います。

### 5. 上長のコメント

加藤さんはタイ出向経験を経て、いろいろな考え方や文化、習慣に触れ視野を広げられました。これは、現在の業務に大いに生かされているものと思います。

グローバル開発関連業務をとおして、海外拠点とお互いの技術を高め、更なる活躍を期待しています。

## 11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京、浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。

日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全、安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

### 編集後記

いつもエレベータージャーナルをご愛読いただきありがとうございます。

梅雨に入りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。寒暖の差や気圧の変化で体調を崩しやすい季節です。また、じめじめして蒸し暑い環境は熱中症の危険性もありますので、十分注意してお過ごし頂ければと思います。

私事ですが、先日健康診断がありました。最近はずっかりテレワーク業務が定着しているのですが、その影響なのか体重が1年間で10kg以上増加してしまい、ダイエットを余儀なくされました。一番の原因は運動不足だと思い、1日1時間程度散歩をしています。また、食生活も改めました。働き方改革が進む昨今ですが、いよいよ私の生活改革が始まった次第です。

梅雨は嫌なイメージがありましたが、散歩をしながら紫陽花がとても綺麗に咲いているのを見て元気をもらっています。梅雨ならではの良い所もたくさんあるのだなあと思う今日この頃です。

話は変わりますが、7月7日は七夕でしたね。皆様はどんな願い事を短冊に書いてお祈りしたのでしょうか。私は、エレベーターやエスカレーター事故が無く、安全にご利用頂けますように・・・とお祈りしました。あと、体重が元に戻りますように笑。

いよいよ夏です。コロナ禍も落ち着きを見せ、生活も元通りになりつつあります。引き続きコロナウイルスに対して注

意警戒をしながらも、今年の夏も貴重な時間をめいっぱい楽しみたいと思います。

そして、エレベータージャーナルも暑さに負けず、色々と充実した情報をご覧いただけるよう編集委員一同努めて参ります。引き続きご愛顧のほどよろしくお願い致します。  
(三ヶ田 記)

### ELEVATOR JOURNAL 2023年7月発行 No.44

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎箱田 将和 東芝エレベーター株式会社

○渋谷 宣恭 株式会社 日立ビルシステム

米谷 真一 フジテック株式会社

羽坂佳穂里 三菱電機ビルソリューションズ株式会社

三ヶ田昌紀 日本オーチス・エレベーター株式会社

発行者 橋本安弘

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目5番12号

龍角散ビル4階

TEL (03) 5829-3457 FAX (03) 5829-5061

URL : <https://www.n-elekyo.or.jp>

㊦ 一般社団法人日本エレベーター協会